



年頭のご挨拶



一般財団法人沖縄県社会保険協会

会長 川上 康

あけましておめでとございます。

会員の皆様をはじめ、本誌をご愛読いただいております皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、協会事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、昨年は多くの会員の皆様に新たにご入会いただき、協会員数が大幅に増加いたしました。この場をお借りしまして、重ねて御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症がようやく終息へと向かいつつあるなか、国際情勢では新たな紛争が起き、また、物価の上昇により国民生活に大きな影響を及ぼすなど、引き続き激動の一年となりました。本年こそは、あらゆる面で落ち着きを取り戻すことを願うばかりでございます。

一方我が国では、少子高齢化が急速に進むなか、社

会保障費の増大にどのように対応していくかが課題となつていきます。政府では、安定した財源の確保やさらなる制度の充実を図るよう、様々な改革に取り組んでおります。

私ども協会といたしましては、県内各年金事務所や全国健康保険協会沖縄支部（協会けんぽ）と連携を取りつつ、会員様に社会保険制度に関する様々な情報を「広報誌」や「ホームページ」を通して提供してまいります。また、社会保険制度に関する事務講習会や各種セミナーの開催、被保険者および被扶養者に対する健康づくりなどの各種事業を積極的に行ってまいりましてでございます。本年も、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

日本年金機構

沖縄県代表事務所(兼)
那覇年金事務所

所長 島尻 とう子



明けましておめでとうございます。沖縄県社会保険協会会員の皆様にはご健勝で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、公的年金制度の円滑な事業運営・推進に特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本年金機構の基幹業務のひとつである厚生年金保険事業に関しまして、これまでの事業状況をご報告申し上げますと、事業所の適用促進の対策としては、国税源泉徴収義務者情報等を活用し文書や電話等による早期の加入勧奨を実施しており、沖縄県の適用事業所数は現在約3万件となっております。

また、オンラインサービスが推し進められている中、当機構も「オンラインビジネスモデルの確実な推進及び利用促進」を組織目標に掲げており、電子申請による社会保険の手続を促進するため事業所様に対し各種勧奨を実施してまいりました。

なお、当機構が重点的に利用を促進している保険者51人以上の事業所においては、全国の適用事業所の約8割が電子申請を利用しており、沖縄県においても全国と同様約8割の適用事業所

様にご利用いただいています。

これらの事業所様からは「届出のため来所等の時間が省け効率的」、「処理が速くて助かる」などのお声を数多くいただいているところです。

当機構としましては、さらなる事業所の適用促進に加え、特に電子申請の促進に関しましては、利便性や対応方法を詳しくご説明させていただきますので、お手続きされていない事業所様は是非「電子申請」をご利用いただきますようお願い申し上げます。

また、従業員の皆様に対しましては、スマートフォンやパソコンで24時間いつでもご自身の年金に関する情報を確認できる「ねんきんネット」を運用しており、マイナンバーカードをお持ちであれば、簡単にご利用いただくことができますので、従業員の皆様へ「ねんきんネット」ご案内のご協力をお願い致します。

今後も日本年金機構は公的な価値あるサービスを提供していくとともに、強い責任感と使命感をもって基幹業務に邁進して参る所存でございます。

沖縄県社会保険協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

年頭のご挨拶

全国健康保険協会沖縄支部

支部長 金城 均



あけましておめでとうございます。沖縄県社会保険協会会員の皆様をはじめ、ご家族、関係者の皆様方には爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は協会けんぽ沖縄支部の業務運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は国内において新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い社会・経済活動も平時の状況に戻りつつある中、海外では膠着化するロシア・ウクライナ情勢に加え、イスラエル・ガザ戦争の勃発が、社会・経済の先行きに一層の不確実性をもたらす結果となりました。連日報道される凄惨な光景を前に一日も早い平和的終結を願ってやみません。

国内医療保険分野においては、「少子・高齢化」、「労働人口の減少」といった構造的な問題に対し、持続可能な医療保険体制を確立するため、様々な制度改革が行われてきました。

本年も、良質で効率的な医療体制の構築を目指し「マイナ保険証の利用促進」、「オンライン診療・オンライン資格確認の拡大」、「医療DXの構築」といった施策が引き続き展開されます。また、診療報酬・介護

報酬同時改定が行われるとともに、第4期医療費適正化計画、第3期データヘルズ計画、第4期特定健康診査等実施計画等の開始により効率化・適正化を通じた課題への取り組みが進められます。

こうした中、協会けんぽでは、適正な保険者機能の発揮を基盤に、事業主と加入者の皆様と協力しながら健康づくり等の保健事業に一層注力してまいります。その一環として昨年度に実施した生活習慣病予防健診や付加健診の自己負担額軽減に加え、付加健診対象年齢の拡大を実施いたします。

また、「県内働き盛り世代の健康づくり」に向けて、「うちなー健康経営宣言」参加事業所の拡大に引き続き取り組みとともに、「宣言事業所」の健康づくり支援の更なる実効性の向上に向けて関係者と連携してまいります。

本年も皆様のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

沖縄県社会保険協会のご発展と会員皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。